

第一部	生命・応用化学科	生命・応用化学科では、環境問題やエネルギー問題等の重要課題を解決するための化学を軸とする基礎的知識と能力、分子論的立場から物質を理解し、材料をデザイン・解析・評価することができる能力を有し、関連産業で活躍できる中核的技術者を育成する。
	物理工学科	物理工学科では、物理的理解に基づいたシステムや物質に関する基礎知識と原子レベルで材料の構造・機能・プロセスを総合的に計測・設計できる能力を有し、関連産業で活躍できる中核的技術者を育成する。
	電気・機械工学科	電気・機械工学科では、先端技術を支える電気電子工学と機械工学に関する基礎知識と創造能力、さらに電子デバイス・機器、通信システム、エネルギーシステム、産業基盤として機能・安全等を迫及した機器などを開発する能力を有し、我が国のものづくり産業で活躍できる中核的技術者を育成する。
	情報工学科	情報工学科では、次世代情報システムや高度情報化社会の実現のための情報工学に関する基礎的知識と能力、高度情報化社会を支える通信と計算機技術、ひとのように思考・行動する知能処理システム、ひとの知覚や認知、感性や感覚に基づくひとに優しいメディア情報システム等を開発する能力を有し、関連産業で活躍できる中核的技術者を育成する。
	社会工学科	社会工学科では、環境、社会、経営に関する課題を解決し、持続的発展が可能な社会の構築するための基礎的知識と能力、都市と建築の計画・設計、人々の活動やサービス、持続可能な都市、強靱な国土、まちづくり、複雑化する社会の理解、多角的に情報収集・分析、問題解決について設計・分析できる能力を有し、関連産業で活躍できる中核的技術者を育成する。
	創造工学教育課程	創造工学教育課程では、工学の一つの分野の専門知識と課題解決能力を有するとともに、広い工学分野を俯瞰でき、主軸とする専門分野の技術と結びつけることで新たな価値を創造する能力を有する、中核的技術者を育成する。

第二部	物質工学科	物質工学科では、森羅万象の基本である原子や分子及びそれらの集合体の本質を理解するための学問、すなわち「化学」をベースとし、物質の構造とその物性の相関を分子レベルで理解した上で、生体やエネルギー・環境との調和に関する物質科学の基礎知識を学ぶ。また、「ものづくり」の先端科学技術を学ぶことにより、エネルギー・環境問題などに対して化学的に深い理解をもって問題解決に取り組める人材を育成する。
	機械工学科	機械工学科では、物事を精密に測り、必要な作用を正しく行わせる機械を考案し、それを動かすためのエネルギーを効率よく利用する科学知識と技術を兼ね備えた人類の未来に貢献できる人材を育成する。
	電気情報工学科	電気情報工学科では、我が国の将来の電気・電子・情報のエレクトロニクス技術の発展を見据え、技術動向に柔軟に対応できる基礎知識と創造能力を身に付けることを教育の根幹として、社会の発展のために電気・電子・情報工学の要素技術を総合的に応用する能力を有する人材、次世代の新しい電子情報システムを実現できる人材、多様なネットワーク社会を技術的観点から作り上げていくことのできる人材を育成する。
	社会開発工学科	社会開発工学科では、より安全でより豊かな都市と社会の未来を創造するために、道路、港湾・空港、橋、地下構造物、ライフラインなどの社会基盤システムの構築、維持管理に寄与する構造工学、水工学、地盤工学、コンクリート工学、社会基盤計画学、生態工学、建設マネジメントなどハード、ソフト両面にわたる工学を学び、環境にやさしく安全で快適な都市の創造、災害に強い国土の形成に向けて総合的な視野と高い技術力を持った技術者を育成する。